

フィッシング対策協議会

月次報告書（2007年1月分）

フィッシング情報届出状況

2007年2月20日

目次

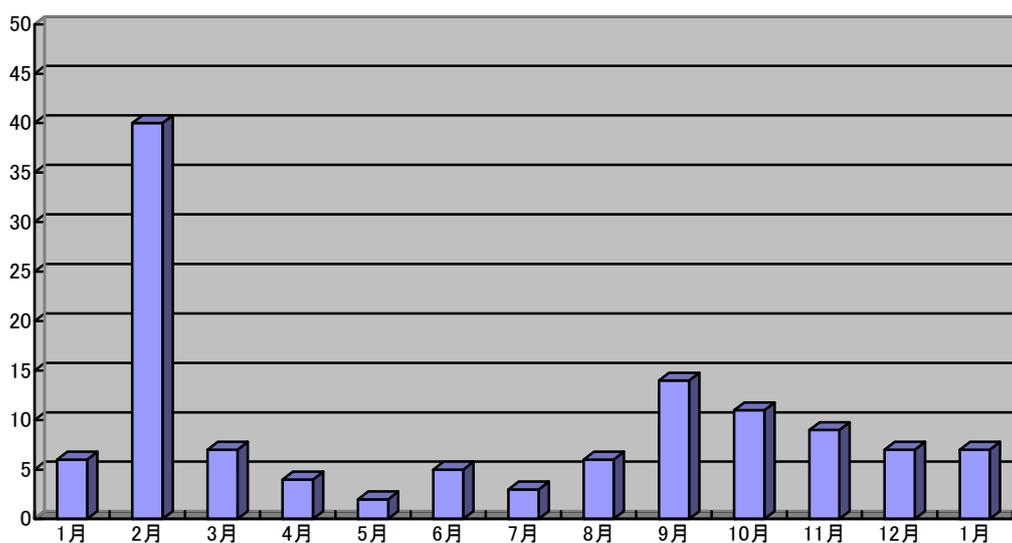
1.	フィッシング情報届出状況	2
1.2.	業種別の状況	5
1.3.	フィッシングサイトのホスト国	6
1.4.	フィッシングメールの動向	6
1.5.	フィッシングサイトの動向	7
1.6.	フィッシング関連の不正プログラム情報	7
1.7.	その他の動向	7
1.8.	総括	7

1. フィッシング情報届出状況

1.1. フィッシング情報届出状況

- ・ フィッシング情報の届出件数： 7件

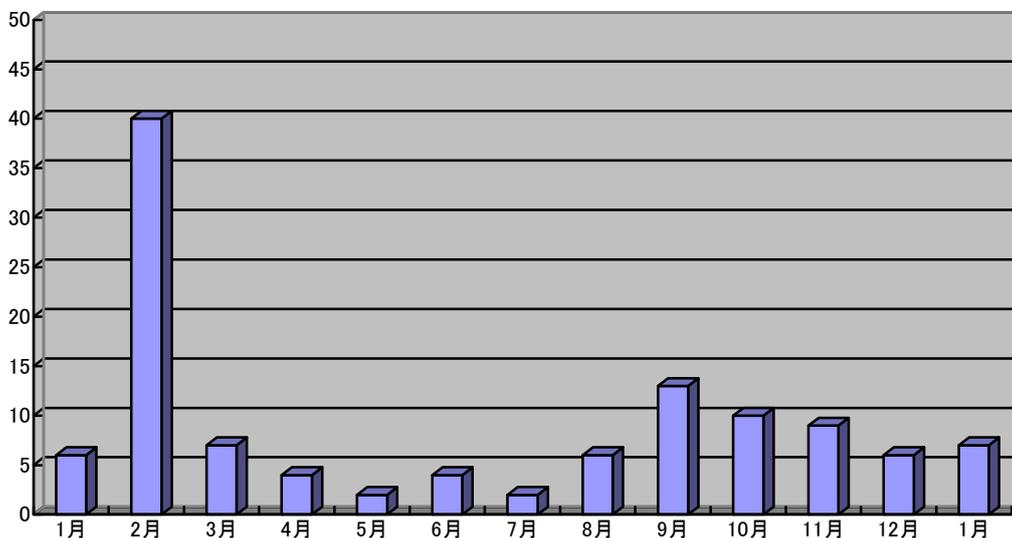
2007年1月度に報告されたフィッシング情報は7件で、前月度と同じ件数となりました。



フィッシング情報の届出件数(2006年1月～2007年1月)

・ フィッシングメールの件数： 7件

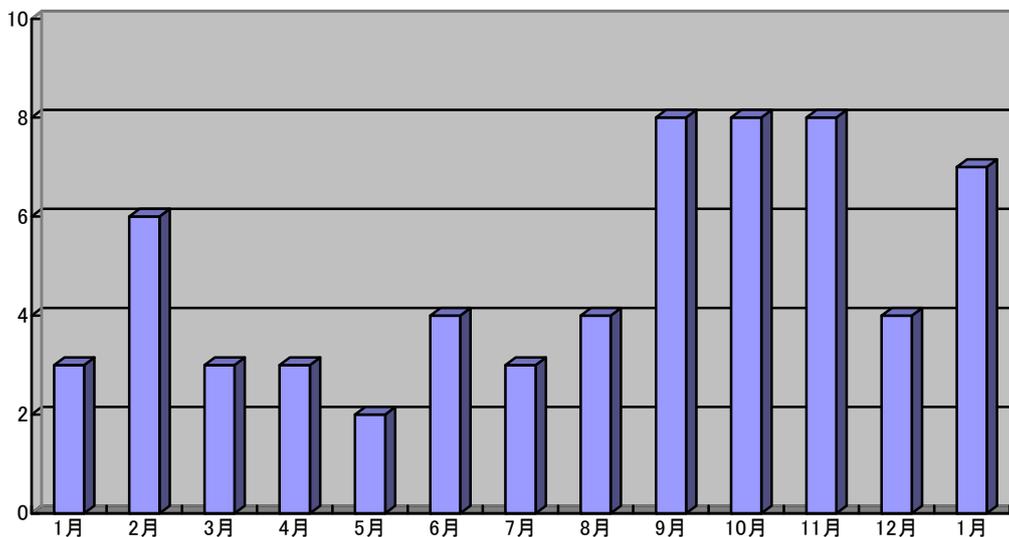
2007年1月度に報告されたフィッシングメールは7件で、前月度よりも1件増加しました。



フィッシングメールの件数(2006年1月～2007年1月)

・ フィッシングサイトの件数： 7件

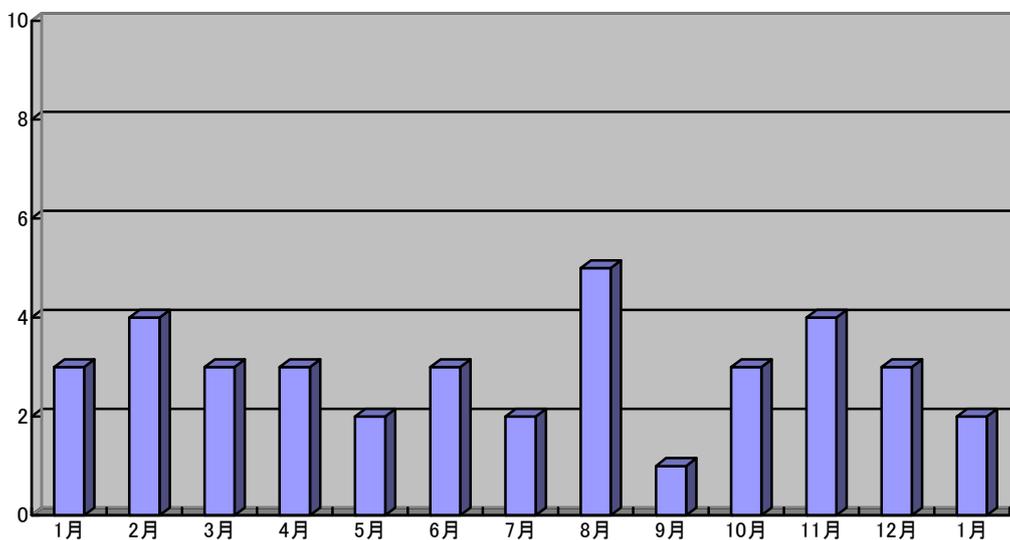
2007年1月度に報告されたフィッシングサイトの数は7件で、これまでで2番目に多い件数となり、前月度より3件増加しました。



フィッシングサイトの件数(2006年1月～2007年1月)

- ・ フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数： 2 件

2007 年 1 月度にブランド名を悪用された企業の件数は 2 件で、「Yahoo! Japan」、「Fifth Third Bank」が標的となりました。

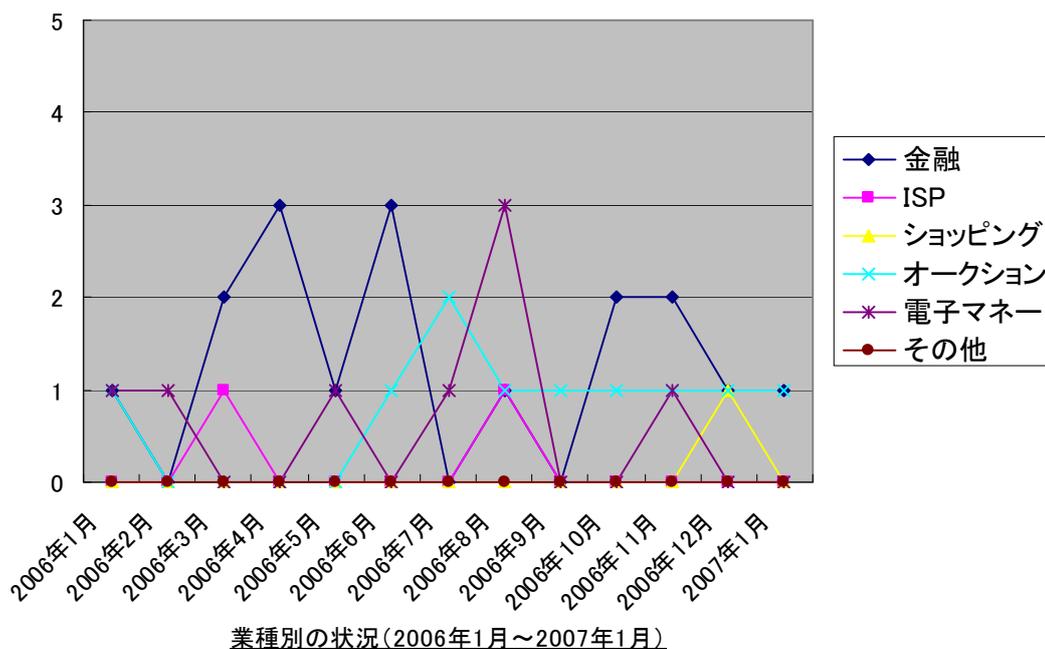


フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数(2006年1月～2007年1月)

- ・ もっともフィッシングに利用される WEB サイトが多かった国： 日本 (6 件)

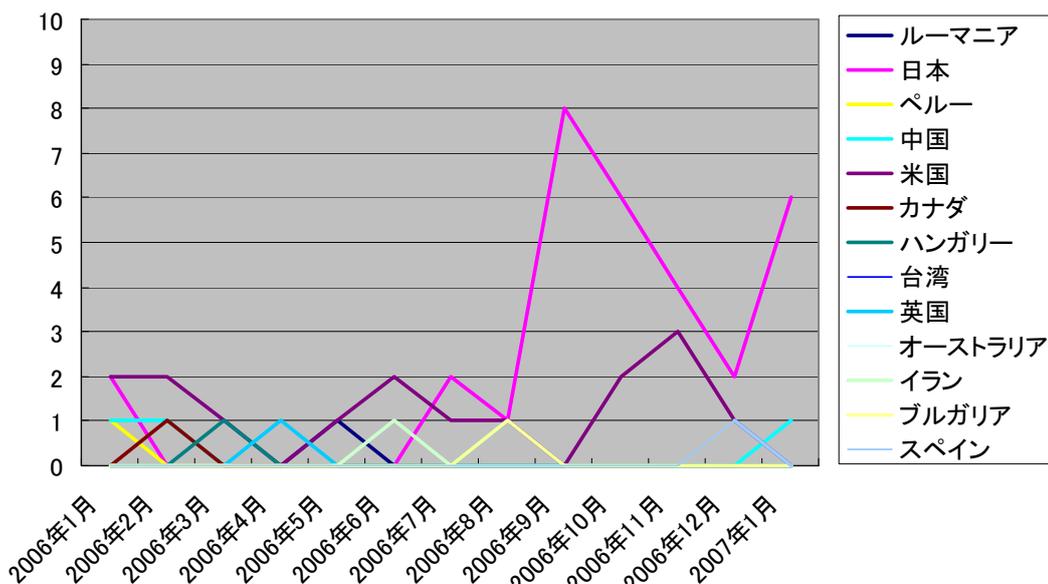
1.2. 業種別の状況

2007年1月度に標的となった業種は、金融1件、オークションサイト1件でした。



1.3. フィッシングサイトのホスト国

2007年1月度に報告されたフィッシングサイトは、日本で6件、中国1件ホスティングされていました。



フィッシングサイトのホスト国(2006年1月～2007年1月)

1.4. フィッシングメールの動向

1月度に報告されたフィッシングメールは計7件で、「Yahoo! Japan」をかたる日本語のメールが6件、「Fifth Third Bank」をかたる英文メールが1件でした。

「Yahoo! Japan」、のフィッシングメールはすべて、昨年の7月度から報告の続いているものと同一形式で誘導先のURLのみが異なっていました。

一方、「Fifth Third Bank」をかたるメールはHTML形式で作成されており、本文全体が1枚の画像になっていました。「業務上、すべてのお客様に個人情報のご確認をお願いしています」と称し、偽サイトへのリンクをクリックするように促します。(実際は画像自体がリンクとなっているため、どこをクリックしても偽サイトに誘導される)

1.5. フィッシングサイトの動向

1 月度に報告されたフィッシングサイトは計 7 件で、「Yahoo! Japan」をかたる日本語のサイトが 6 件、「Fifth Third Bank」をかたるサイトが 1 件でした。

「Yahoo! Japan」をかたるサイトはこれまで報告されているものと同じく Yahoo! JAPAN ID、パスワードやクレジットカード番号を盗み取るもので、国内のレンタルサーバ上に設置されていました。

「Fifth Third Bank」の偽サイトは本物サイトのインターネットバンキングのログインページに似せて作られており、ログイン ID とパスワードなどを盗み出すものでした。偽サイトには本物と同じくベリサイン社のセキュアドシールが貼り付けられており、シールをクリックすると本物の検証ページが表示されるようになっていました。シール自体は HTML タグを HTML ソースファイルに挿入することで表示させることができ、今回のような偽サイトにも (https ではないページにも) 掲載することができます。同社のシールを悪用したケースはこれまでも確認されています。フィッシングサイトは中国でホスティングされていました。

1.6. フィッシング関連の不正プログラム情報

特にありません。

1.7. その他の動向

特にありません。

1.8. 総括

1 月度のフィッシング情報届出数は、先月度と同数の計 7 件の報告が寄せられました。そのうち 6 件は「Yahoo! Japan」に関するもので、同様の手口の報告は 7 ヶ月連続となりました。報告数は先月度までは徐々に減少していましたが、今月度は 2 件増加しました。

今回、「Fifth Third Bank」の偽サイトにはベリサインのセキュアドシールが貼られていました。一般の利用者はシールを見ただけで安心してしまいがちですが、シールの意味や確認方法をきちんと理解する必要があります。

本月度には、フィッシング詐欺サイトを簡単に設置できるツールがインターネットで販売・利用されて

いるとの報道がありました。また、PDFファイルの閲覧に多く用いられる Acrobat にクロスサイトスクリプティングの脆弱性が公開されています。クロスサイトスクリプティングはフィッシング詐欺に悪用される可能性があり、フィッシング対策協議会でも注意喚起を行っています。さらに、HTML の代わりに Flash を使うことによってフィッシング対策ツールバーを回避する手法も確認されており、フィッシング詐欺の犯行が容易になると同時に手口がますます巧妙化しています。最近はさまざまなフィッシング対策ツールバーが提供されていますが、本物のサイトとフィッシングサイトを見分けるのに、フィッシング対策ツールバーだけで判断するのは危険です。利用者は一つの対策法だけに頼るのではなく、ドメイン名を確認するなどの基本的な対策法とあわせて総合的に判断するようにならなければなりません。